

## 「道路植栽は要らない会」発足のお知らせ

2023年10月1日に「道路植栽は要らない会」を、社会問題提起として茨城県石岡市で立ち上げました。「NOKをぶっ壊す党」と同じ様に、立○氏の言い方に例えますと「道路植栽をぶっ壊す会」とも言えます。私は個人的に数十年前からこの件について色々と考え、本来こう有るべきではないかと結論付けて来た事を表記しましたので、皆様方の精読精査及び御賛同・御参加の程宜しくお願い致します。

- ①維持経費→日本の道路植栽維持経費の総額はとても莫大で有り、毎年右肩上がりに増加している。
  - ②交通安全→植栽が日々成長拡大し、視界をさえぎる死角も一緒に拡大続けて非常に危険で有る。  
例1→子供達や自転車の飛び出し等の危険をかなり助長している死角ばかりが拡大している。  
例2→車両の前の部分を道路側に出さないと左右確認も出来ない死角ばかりが拡大している。
  - ③落ち葉→落ち葉の清掃や集積撤去・排水溝の詰まり・歩行者等が滑る要因・乾燥時の火災原因等。
  - ④自然災害→台風や積雪等による街路樹の倒壊や、枝や葉の飛散等に伴う排水や冠水の被害拡大。
  - ⑤電柱電線→電柱電線に掛かる枝払いの経費拡大や、樹木や枝と電線が風で擦れての劣化火災等。
  - ⑥根の成長→根の成長圧力に伴う歩道や車道や水道管・ガス管等への亀裂損傷増加等の被害拡大。
  - ⑦害虫発生→蚊や毛虫や蜂やカラス等の集団発生源及び害虫隠れ棲み家への助長にもなっている。
  - ⑧ゴミ→ポイ捨てし易くし見えないゴミ捨て場にもなっており衛生面でも取って悪い環境を作っている。
- マイナス面として①～⑧の項目をとりあえず表記しましたが、それ以外にも沢山有ると思います。

プラス面としては①四季が楽しめて景観にも良い。②日陰や空気清浄にもなっている。③木には水分が含まれているので防火に役立つ等です。  
この様に全体としてマイナス・プラス双方の生活重要度や財政面での維持経費等を色々な角度から比較しても、マイナス面の比重の方がかなり大きく、やはり「道路植栽は要らない」です。

### 道路植栽をしない場合の各活用方法例

- ①自転車専用道路に切り替える。
- ②宅配便トラック等の無料駐車停車場。  
(一般道に駐車停車されると車や自転車や歩行者にとって沢山の死角が増えてとても危険な状態。)
- ③行政や民間運営の短時間有料駐車場や短時間無料駐車場及び無料駐輪場としての活用。
- ④その他生活に密着して役に立ち、かつ初期費用や年間維持経費等がほとんど掛からないもの。

### 最終結論

毎年の莫大な税金の無駄遣いと思われる道路植栽は一切やめて、その予算を社会福祉や高齢者対策や少子化対策や物価値下げ対策等の生活に最も重要な所に至急回して貰いたい。  
また、国や地方行政の垂れ流し巨大累積赤字を少しでも減らして貰いたい。これが真の『SDGs』です。

上記内容に若干でも御賛同出来る方は、是非「道路植栽は要らない会」に御参加下さい。  
署名対象者は全国の方々の中で、意思表示が出来る方であれば幼児でも大丈夫です。  
会費等は一切無く、最後まで1円も掛かりませんのでご安心下さい。

※参加方法は陳情書の署名欄へ、ご本人の「署名・住所・連絡先・紹介者」の4点記入だけです。

とりあえず石岡市への賛同者(石岡市民以外も含む)が100人以上になりましたら市議会へ陳情し、各新聞社や各メディアにも周知したいと思います。(石岡市への陳情を初回モデル地区として、それから他区市町村や茨城県等へ、そして国へと少しずつステップ・パワーアップして行きたいと思っています。)

また、賛同者同士で「道路植栽は要らない会」のライングループを作って、政治や行政や生活等への意見や愚痴等と色々で様々な楽しい雑談口コミ情報交流の場にもしたいと思っています。(任意参加)  
若干でも御賛同頂ける方は下記へ連絡して下さい。宜しくお願い致します。

「道路植栽は要らない会」会長 関健司

賛同リーダー名→

連絡電話番号→



2024年4月20日更新 【著作権有・知的財産】